



認知症施策

古越 孝子 議員

早期発見と予防のために健康診断の項目に認知症検診を入れては。

70歳から85歳までの要介護認定を受けていない人を対象に、2年に一度郵送で「はつらつ健康チェック調査票」を用いたスクリーニングを実施している。調査結果に応じてアウトリーチも実施している。

また市内4つの地域包括支援センターが認知症相談窓口になっている。

身近でできる脱炭素の取り組み

身近でできる脱炭素の取り組み

置き配パック等を利用して脱炭素の取り組みをしては。

配達を一度で済ませ、車両等の利用頻度が抑制され、二酸化炭素の削減が



車を置いて自転車で脱炭素

できると認識している。他市町村の動向を注視しつつ置き配パックの利用も含め、効果的な脱炭素実現に向けた取り組みの検討を進める。

シェアサイクルの現状、効果、課題は。

現在、民有地も含め22カ所ある。公共交通を補完し、CO2の排出量の削減による環境負荷の低減、健康づくりの増進等が考えられる。市全体を鑑みて鉄道駅周辺のサイクルポート数が少ないことからシェアサイクル運営事業者と検討に努めている。



ステラ・ウェストで盛り上がる

なんでも鑑定団の招致はできないか。

実施にあたり100程度のお宝が必要という情報がある。

のど自慢などは。

公開収録番組の開催日等を見極め、エントリーは可能だと考える。

おかさんといっしょ、忍たま乱太郎はどうか。

共に実現可能なものから進めていければと考える。定期的には春休み、夏休みの平日なども含めて調整していきたい。



ステラ・ウェストの活用

金濱 高頭 議員

こどもの金融教育の推進

県金融広報委員会との連携ができないか。

選択肢の一つとして各学校に紹介していく。

「体験的な学び」が重要と考え

今後、地域協働学校における取り組みの考えは。

質の高い学校教育と社会教育を一体的に進める市の教育の充実に努めていく。

ラーケーションの導入

本市でも導入できないか。

保護者を含め幅広く理解を得る必要があることから、慎重に検討していく。



産後ケアの充実を

民部 佳代 議員



産んだあと健康やかに

市の産後ケア事業の概要は。

ショートステイ型で施設に委託している。市が1泊2万円を補助し、2泊3日の場合の自己負担は8万円である。

父親も宿泊でき、24時間体制の育児支援や食事の提供等、手厚い支援が提供されている。

利用条件が厳しく、経済的負担も大きい。多様なニーズに対応を。

現在の施設では出産後4カ月までとなる。新たな産後関連施設を開拓し、出産後1年以内まで

利用できるよう、また利用しやすい金額で提供できるよう選択肢の充実を目指す。

市内循環ワゴンの時刻表を分かりやすくできないか。

上福岡駅東口とふじみ野市役所の停留所間での便に乗れば早く着くか分かる早見表を試験的に掲示し、分かりやすくなったとの声があった。今後、他の主要な公共施設と鉄道駅間でも取り組む。

駅から東西文化施設の交通手段の周知を。

市内循環ワゴンと民間路線バスの時刻情報を組み合わせた早見表を、施設利用者、イベント主催者に情報発信していく。



これが僕の図書館

高齢者などの見守りに、確実に迅速な対応ができる民間企業の見守りサービス事業を導入しては。

小・中学生の電子図書館の活用

民間企業の見守りサービスを導入すること、いざという時に有効である。補助等を行っている先進自治体の実績、効果、課題を研究していく。

り組みは。

10月2日からふじみ野市電子図書館が開始され、全児童生徒が利用カード番号を保有している。

教育の更なる充実に向け、授業内での活用や家庭学習での活用等一層の周知を図っていく。

クラウドファンディングをふるさと納税で

クラウドファンディング型のふるさと納税を本市でも追加しては。ふるさと納税制度の中で実施する場合は総務省が明示する基準に沿って実施しなければならぬ。

市での実績はないが、今後多くの賛同が得られるプロジェクトについて研究していく。

聴覚障がい者のため公共施設内のトイレにパトライトの設置を。

緊急情報を目視で確認することができる「光」の設備を設置することは、聴覚障がいのある人以外にも有効であると考え研究する。

また、文字情報を記入したカードを用意しておくことで、避難誘導を速やかに行うことが可能と思われる。

ステラ・ウェストホールの階段に手すりの設置を。

ホール内で座席に掴まって階段を降りている状況を把握している。他の施設のホールを参考に検討していく。

防災意識を防災行動へ

楽しく防災を学び、実際に防災行動に移せるよう、防災運動会やオン

総合防災訓練や市民スポーツフェスティバルで防災競技を取り入れている。今年度は時間の短縮から実施地域はなかったが、今後も楽しく学べる機会の創出に努めていく。



楽しみながら防災訓練

おうち防災運動会はいくつかの自治体で実施していることを確認した。実際の防災行動に結びつけるための取り組みについて調査研究する。

市内経済活性化の方策は

地域経済活性化のための更なる経済対策はあるか。

本年度の消費活性化クーポン事業と併せて、事業者へのアンケートを実施し、今後どのような事業、支援が必要であるか検証し、効果的な施策を考えていく。



市内でオーガニック野菜を

オーガニックビレッジ参加へ

特徴ある農業政策としてオーガニックビレッジの参加はできないか。

市内農家の意見を伺い、オーガニックビレッジ宣言を行っている市町村を参考にするとともに、特徴ある農業のための支援策を調査していく。



民間企業の見守りサービスの導入を

前田 広子 議員



障がい者・高齢者に優しいまちづくり

鈴木 美恵 議員



新型コロナウイルス接種の行政記録の延長を

川島 秀男 議員

*ラーケーション…年間数日程度、子どもが保護者等とともに、校外での体験や学びを実施できる日を設ける制度。学校に登校しなくても欠席とならない。